

浜田市役所 御中

市内出身中・高校生の 地域や将来意識に関するアンケート 調査結果報告書

2015年7月31日
株式会社シマネプロモーション

調査概要

調査対象者	□浜田市内に立地する中学校3年生、高校3年生全員 □浜田市外の高校に通う高校3年生
回答者数	919サンプル
実査時期	2015年7月8日～7月17日
調査方法	用紙記入によるアンケート調査
設問数	18問(うち自由回答2問)
調査 実施機関	株式会社シマネプロモーション

1.愛着・地域貢献意識・

住みたいまちについて

2.浜田への居住・勤務意向

3.地域活動への参加意向

4.将来の目標や進路について

5.基本属性・生活意識について

1.愛着・地域貢献意識・住みたいまちについて

浜田が好き、浜田を良くしたり元気にしたいといった愛着や地域貢献意識を持つ学生は約7割存在する。また、浜田を好きと回答した人は、浜田で働きたい・外に出てもいつか戻って働きたいという意向が、好きではないと回答した人に比べて高いことから、地域のことを知り、愛着を持ってもらう教育をすることで将来的な居住意向を育てることができる可能性がある。

浜田の嫌いなところとして、「遊べる場所が少ない」「不便」という声が全体的に多く上がっている。

都会の商業集積や利便性を追うのではなく、田舎ならではの遊び方を啓発することに加え、都会ではできない遊び場を検討することで、ここでしかできない遊びの提要による地域の愛着育成につなげることができる可能性がある。

2.浜田への居住・勤務意向

浜田で働きたい・外に出てもいつか戻って働きたいと全体の約4割が回答している。1.の項目で、愛着と将来的な居住意向には関連があることから、地域をもっと知る、愛着を育てるための機会提供は、将来的な居住者増には有効であると言える。

浜田で働きたくない人は働きたい人に比べ、遊べる場の少なさや不便さといった点に、より強い不満点を持っている。都会と同じ利便性を追求した街づくりは現実的に難しいため、彼らが一度外に出ても戻ってきたいと思えるだけの地域との関わりや愛着、地域貢献意識を育成する機会提供は、長期的視点に立つと有効であると考えられる。また、居住したくない理由として、「魅力ある仕事がない・または知らない」「若い人がいない」「働く場所がない」といった記述が多く見られた。

地域で仕事を自ら作るというマインド作りや、地域にどんな人がいるか・どんな仕事があるかを知ってもらう場作りは、居住意向を育てるためには有効である可能性が高い。

3.地域活動への参加意向

参加しても良いと思う地域活動は、「クラブ活動やサークル活動」「スポーツやレクリエーション」「子供の集まるイベントなどのボランティア活動」といったものが上位に上がっている。一方で、「高齢者や障害者に対するボランティア」「防災」「清掃・リサイクル」「伝統文化の保存」といった、社会や地域課題を解決するための活動への参加意向はさほど高くない。このことから、自らが当事者として楽しみながら参加できる地域活動には参加したいが、いわゆる地域貢献を主題とした活動へは積極的に参加したくないという意向が読み取れる。

地域課題を解決することを主題とした活動ではなく、自らが楽しみながら参加でき、それが地域課題の解決につながるような、地域活動の内容を検討する必要がある。

4.将来の目標や進路について

高校生の約5割、中学生の約3.5割が、やりたいことを具体的に持っていると回答している。やりたいことがある人のほうが、浜田への愛着や貢献意識を強く持っている傾向にあるため、将来のやりたいことを考えることは、地域への愛着を高めるためにも有効であると考えられる。

キャリア教育と、地域を知る教育を統合させて考えることも大切になってくる。

また、将来の選択にあたって気がかりなことは、「特にない」が最も多く、「自分にあっているものがわからない」「社会に出て行く能力があるか自信がない」という項目が続く。

多様な職業の人の話を聞くといった選択肢の幅を見せることも大切だが、やりたいことを見つける方法や、夢を実現するために大切な力といった内容もレクチャーするような機会が望まれる。

5.基本属性・生活意識について

※調査結果(P27-31)参照

1.愛着・地域貢献意識・住みたいまちについて

1.愛着・地域貢献意識・住みたいまちについて

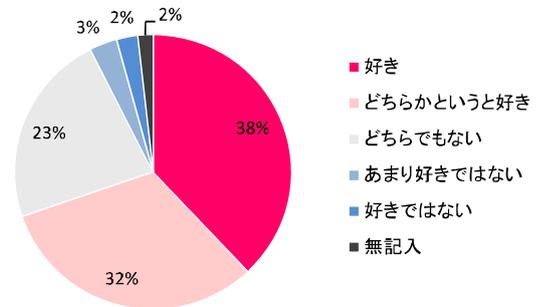
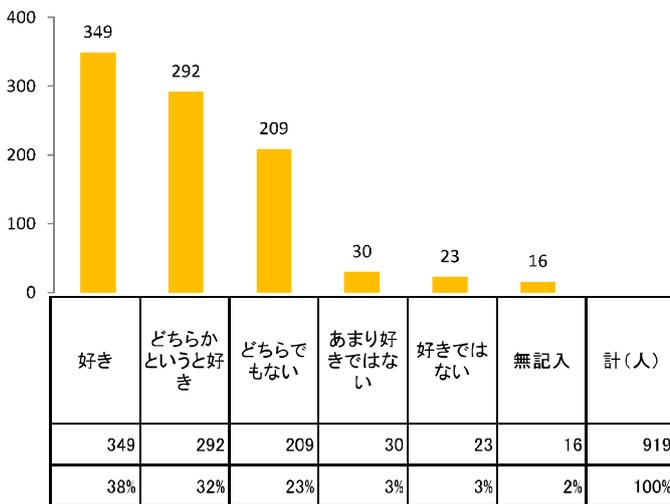
70%の人が浜田を好き(「好き」「どちらかという好き」)

ついでどちらでもないが23%存在し、好きではない、あまり好きではないは6%にとどまった。

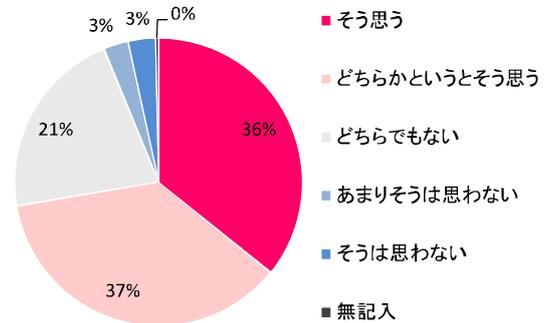
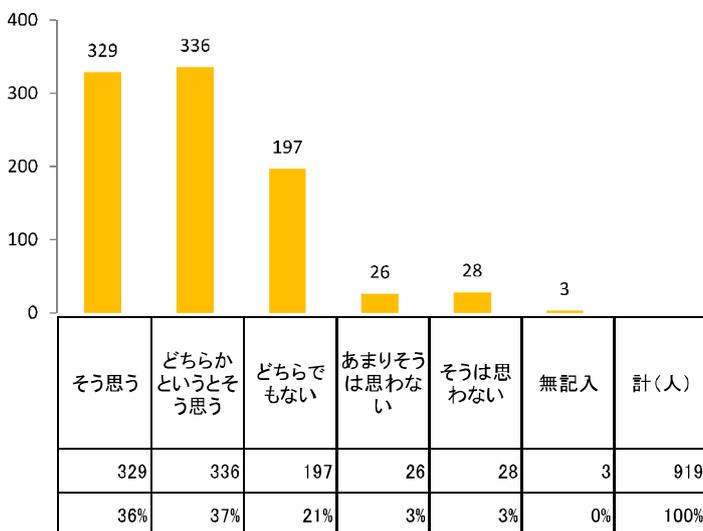
73%が浜田を良くしたり元気にしたい

「そう思う」36%、「どちらかというと思う」37%と、7割超の学生が地元貢献意識を持っている。「あまりそうは思わない」「そうは思わない」と回答した人は6%にとどまっている。

Q1
SA
あなたは浜田市が好きですか。



Q5
SA
あなたは、浜田市を良くしたり、元気にしたいと思いますか。

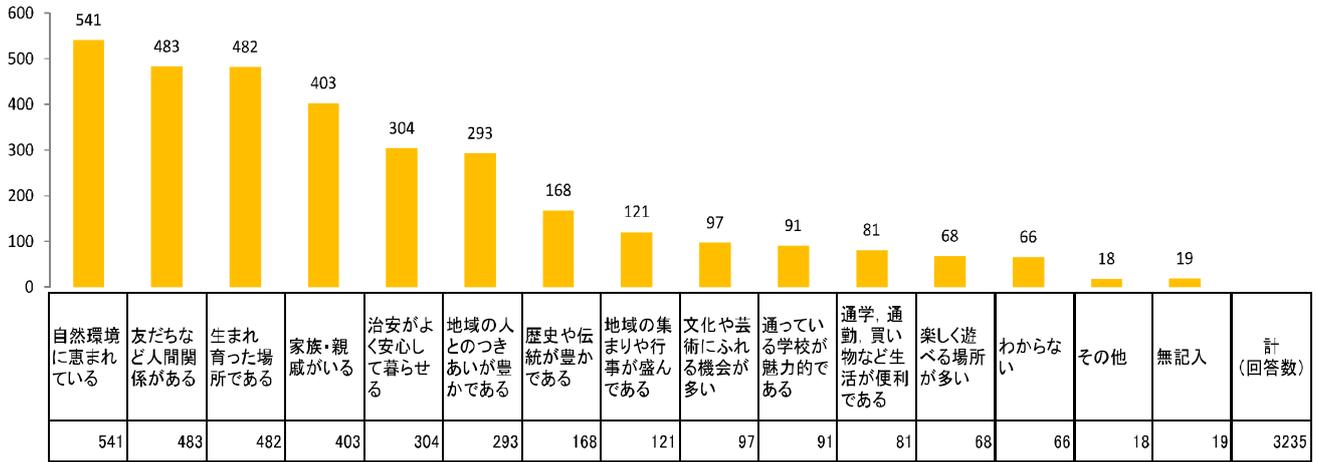


1.愛着・地域貢献意識・住みたいまちについて

浜田の好きなところは「自然環境」「人間関係」「生まれ育った場所」 浜田の嫌いなところは「遊べる場所が少ない」「不便」

生まれ育ったならではの縁と、豊かな自然環境魅了を感じている一方、田舎の逆の要素である遊ぶ場所や利便性が、嫌いなところの上位に上がっている。

Q2
MA
浜田市の好きなところはどこですか。



Q3
MA
浜田市の嫌いなところはどこですか。



1.愛着・地域貢献意識・住みたいまちについて

浜田の好きなところで多かったキーワードは、「魚が美味しい」「自然が豊か」「神楽」「田舎」

食文化、景観、浜田の地域文化など、生活に密着した文化が項目として上がっている。観光振興という視点からこれらが脚光をあびることは多いが、観光客のためのこれらの情報発信ではなく、地元の人にどう喜んでもらえるかという視点も地域への愛着の造成には重要になってくる。

Q2：浜田市の好きなところはどこですか。

[その他自由記述]

- ・ 魚がおいしい
- ・ 海近いからお魚うまい
- ・ 魚がおいしい
- ・ 空気がおいしい。
- ・ 事件があまりおこらない
- ・ 田舎だから。
- ・ 静かで良い
- ・ 好き人達がいるから
- ・ 都会でないところ
- ・ 神楽
- ・ 何も無いのが落ち着く。
- ・ 釣りが出来るから。
- ・ 嫌い。
- ・ 神楽
- ・ 自分の趣味のクラブ活動ができる。
- ・ 落ちつく
- ・ セブンイレブンがある。
- ・ 魚がおいしい

1.愛着・地域貢献意識・住みたいまちについて

浜田の嫌いなところで多かったキーワードは、「店など遊ぶ場所がない」「運動施設などの公共施設が充実していない」「利便性が低い」「勉強できる場所が少ない」といったものが挙げられる。

利便性の低さや商業集積・サービス施設の少なさが多く不満点として上がっている。しかしながら逆に、それらが少なく自然豊かなのが田舎らしさとも言える。それをうまく楽しむための啓発活動に加え、不満点や要望一つ一つに応えるのではなく、どのような街を作りたいかから逆算して、それらに応えていく必要がある。

Q3：浜田市の嫌いなところはどこですか。

[その他自由記述]

- ・ 文化レベルが非常に低い。
- ・ 田舎すぎる。
- ・ 夜街灯が少ない。LED で青い電気だけで暗く見える。
- ・ 娯楽施設が少ない。
- ・ 近所付き合いが面倒くさい。
- ・ 公園でボール遊びが出来ない。
- ・ 虫が多い。
- ・ ありません。
- ・ いなか。
- ・ 飲食店のチェーン店が浜田市街に少ない。
- ・ 運動施設が少ない。
- ・ 広島のような店がない。
- ・ 店がない。
- ・ 金城にイズミなどがない。
- ・ ない。
- ・ 人間関係が希薄である。
- ・ 遊び場を増やしてほしいです。
- ・ 遊ぶ場所増やしてほしい。電車の本数を増やしてほしい。
- ・ 大きいショッピングモールがない。映画館がない。
- ・ 朝が早い。
- ・ 人。
- ・ 無さすぎる。
- ・ 全て不便。
- ・ 誰も住んでいない家が多い。
- ・ なし。
- ・ “自宅以外で自主学習が出来る公共施設がありません。
- ・ 中央図書館が不便。1日3時間しか勉強出来ないのあまり意味がない。学

生の為に、他にもっと良い施設を造って頂きたいです。”

- ・ 図書館。
- ・ 過去の未解決事件。
- ・ 市立図書館のやり方や職員の態度。
- ・ 新しく来た人の「反対」のせいで、田んぼで草が焼けない。

1.愛着・地域貢献意識・住みたいまちについて

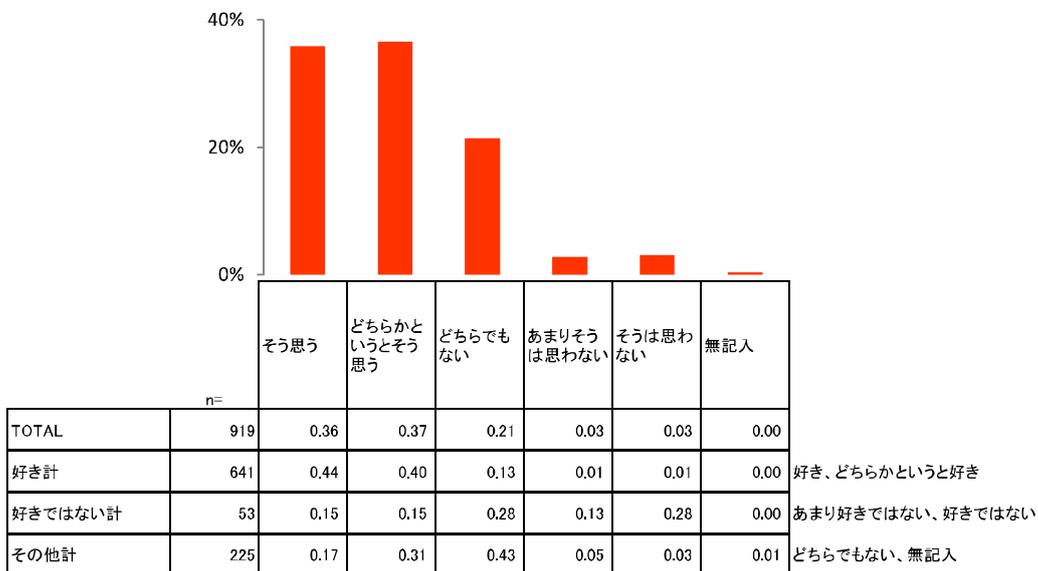
浜田を好きと答えた人の84%が「浜田を良くしたり元気にしたい」。

逆に浜田を好きでない人のそれは30%にとどまっていることから、将来的な地域貢献意識を育てるためには浜田のことをもっと知り、好きになってもらうための教育が必要。

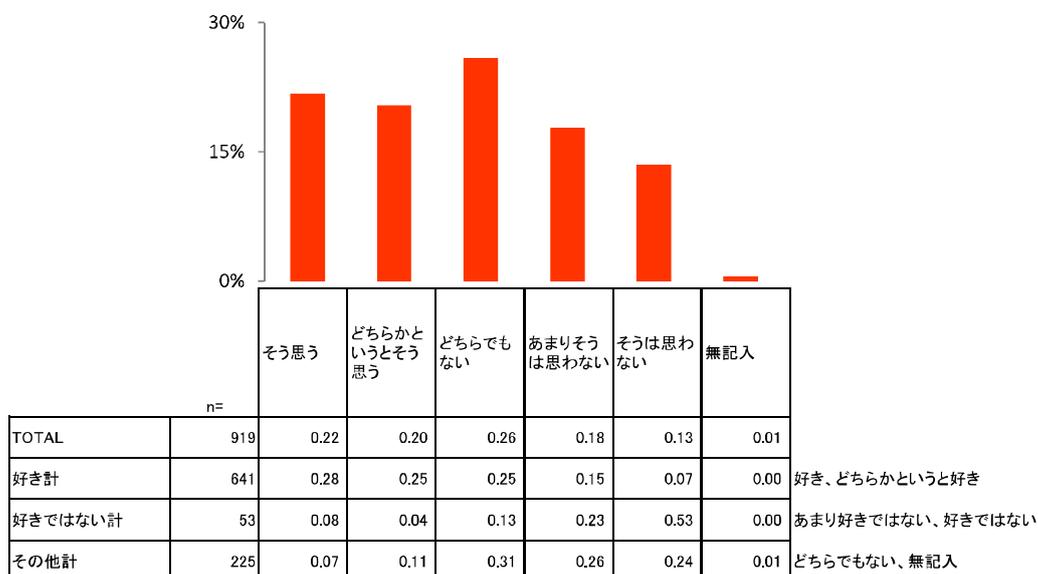
浜田を好きと回答した人の53%がゆくゆくは浜田で働きたい。

地域への愛着と、地域への将来的な居住意向には関連がある、浜田に帰ってきてもらうためにも、浜田を好きな子供たちをどのように育てるかを検討する必要がある、

Q1: 浜田が好きか × Q5: 浜田市を良くしたり、元気にしたい



Q1: 浜田が好きか × Q6: 浜田市で働きたい、いつか戻って働きたい

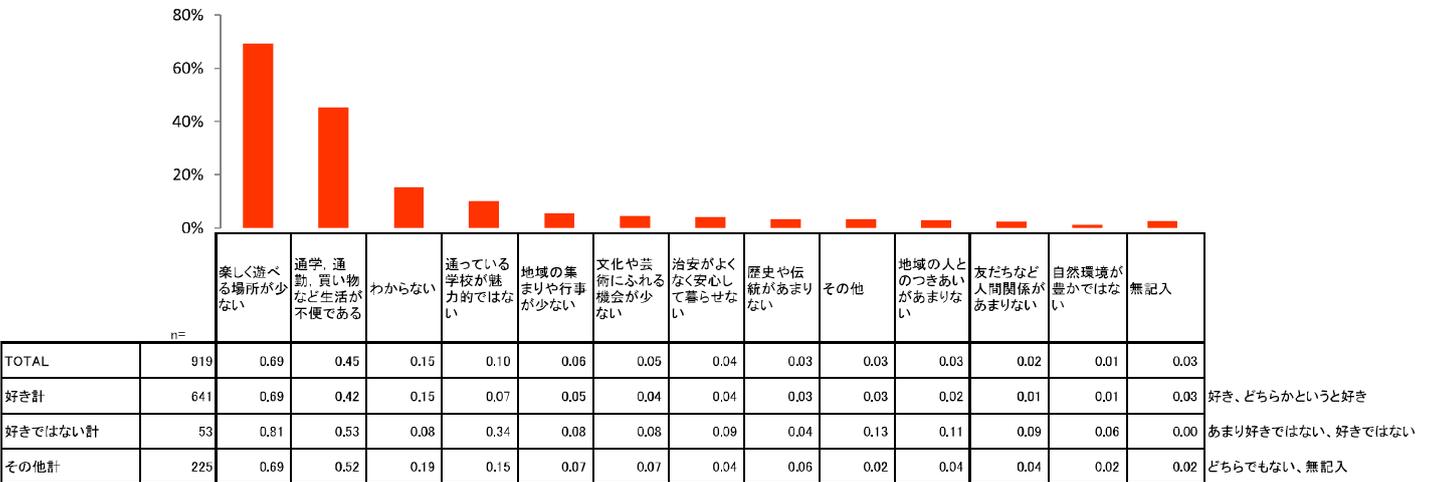


1.愛着・地域貢献意識・住みたいまちについて

浜田が好きではない人の不満点は「遊べる場所が少ないこと」「不便」

現実的に、都会のような遊び場の充実や利便性を追求することは難しい。彼らの地域への愛着を醸成し、地域貢献意識を育むためにも、田舎ならではの遊び方や楽しみ方の啓発と、浜田らしい遊び場の検討を行う必要がある。

Q1:浜田が好きか×Q3:浜田市の嫌いなところ



1.愛着・地域貢献意識・住みたいまちについて

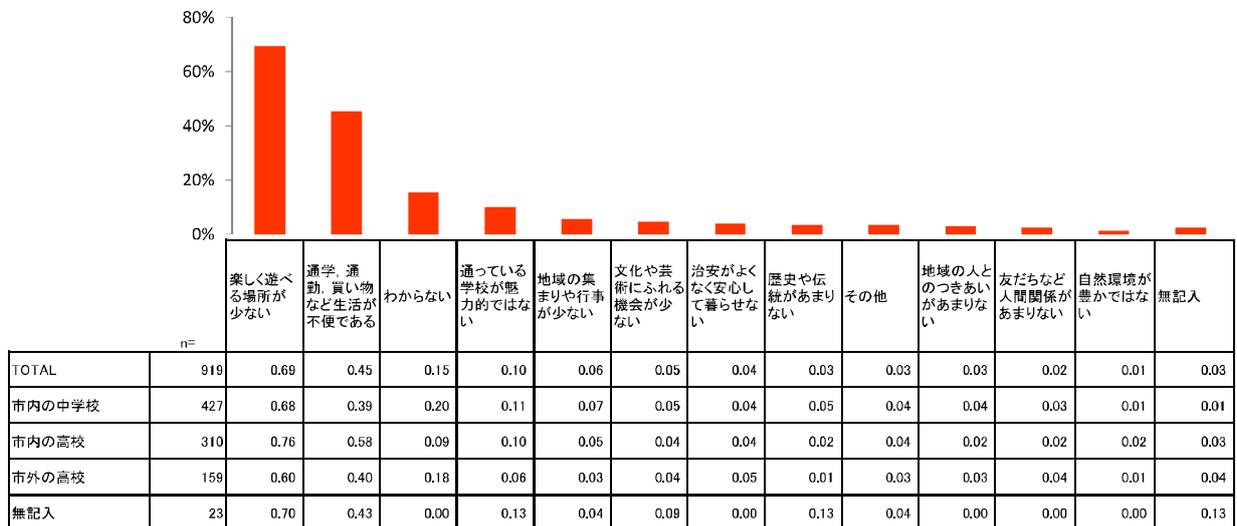
市内に通う高校生の方が、市外に通う高校生に比べて、浜田の嫌いなところは「遊べる場所が少ない」「不便」という項目を多く選択している。

市外の高校生の方がより、比較対象や客観的な視点を持ち浜田を見、評価することができる可能性がある。

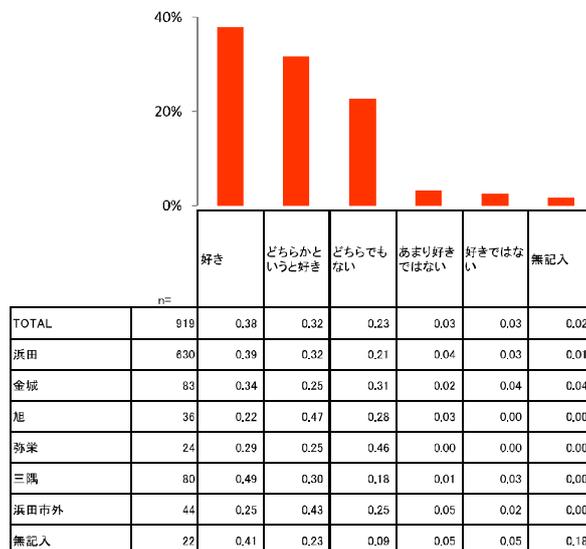
三隅出身の学生は浜田への愛着が高い。

地域ごとの愛着の差が何に起因するものなのかを、愛着への考察をより深める際には調べることが有効な可能性がある。

Q17:通っている学校×Q3:浜田市の嫌いなところ



Q18:住んでいる地区×Q1:浜田が好きか



1.愛着・地域貢献意識・住みたいまちについて

どんな浜田市に住みたいかという設問で多かったキーワードは「遊ぶ場所が多い」「便利」「安心」「自然豊か」「観光客がくる」「経済が安定している」「歴史と伝統がある」「地域の人たちの協力」。

多様な要望が上がっているが、すべての要望に応えることは難しい。浜田市として大切にすべきもの、浜田らしいものといった、将来に向けての判断基準や理想像を明確に規定し、まちづくりを行う必要がある。

Q4：あなたは、どんな浜田市に住みたいですか？

[自由記述]

- ・ 学校でいじめなどが無い。
- ・ 1人1人が不便なく安心して暮らせる。
- ・ 道路などの交通整備がされていて、人がさくさんいてにぎやかな住みやすい町。
- ・ もうちょっと浜田市内が栄えていたらいいと思う。
- ・ 明るくて楽しい浜田市。
- ・ 遊ぶ場所が多く、夜でも明るい町。
- ・ 楽しい場所が多い浜田市。
- ・ 安心して住めるところ。
- ・ 子どもと大人が助け合っていく浜田市。
- ・ 明るい浜田市。
- ・ 浜田市民がいつでも笑ってくださる浜田に住みたい。
- ・ 楽しく遊べる場所。
- ・ 楽しく遊べる場所が多い。
- ・ 店があり、バスも便利。
- ・ 活気あふれる浜田市。
- ・ 友達といろんなお店に行ったりできるところ。坂が少ない。
- ・ 住みやすい。
- ・ 楽しい！って思える浜田市。
- ・ 今のままが一番いいです。
- ・ 自然豊かで、住みやすい浜田市がいい。お店や、あそぶ場所なども増やして、たのしく住める浜田がいい。
- ・ 安全で自然豊かな環境の良い浜田市。
- ・ 友達と遊べる施設がある。
- ・ “いろいろな県から観光客などがきて、より安定した経済活動が送れる市。
 - ・ 自然が豊かな町と経済力がある両

立した市。

- ・ スポーツなどの環境が今よりもっと整っている市。”
- ・ 遊べる場所がある所。
- ・ 過疎地域でも便利に移動できる浜田市。
- ・ ブックオフがある浜田市。
- ・ 海や砂浜がきれいな浜田。
- ・ 明るく、楽しい浜田市
- ・ “海がきれい
- ・ もっとお店を増やしたい”
- ・ 友達や家族と楽しく遊べるようなところ
- ・ 子どもも大人も安心して安全にらせる浜田に住みたい。
- ・ “町なみがいい
- ・ 楽しくあそべる場所が一つもない”
- ・ とくにない（今のままでも十分。）
- ・ もう少し楽しく遊んだり買い物ができる所がある浜田
- ・ “みんなが仲がいい。
- ・ ゆたかな浜田市
- ・ 自然がきれい。”
- ・ 自然はそのまま、もっと買い物できる場所や楽しむ場所などがある
- ・ 友だちと楽しく遊べる場所がたくさんある。
- ・ 問2で丸をしたものと楽しく遊べる場所が多い浜田市に住みたい。
- ・ 子供が多い浜田市。
- ・ みんなが楽しくすごせる。
- ・ もう少し遊べる場所、楽しめる場所を増やして欲しい。（映画館、アミューズメントパークなど）
- ・ 買い物に便利。
- ・ 自然が豊かな浜田市。
- ・ 毎日が楽しく暮らせる浜田市。

2.浜田への居住・勤務意向

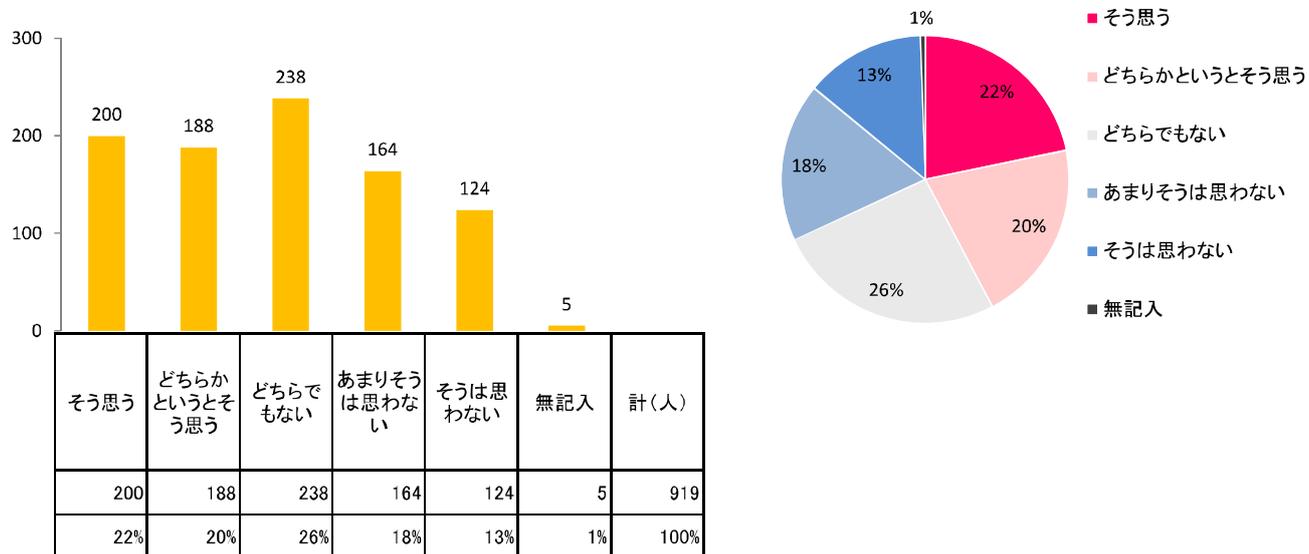
2.浜田への居住・勤務意向

42%が浜田で働きたい、あるいはいつか帰って働きたい

「どちらでもない」と回答した人が26%存在している。「あまりそうは思わない」「そうは思わない」は31%であった。

Q6
SA

あなたは浜田市で働きたい、または外に出ていつか戻って浜田市で働きたいと思いますか。



2.浜田への居住・勤務意向

浜田に戻って来たい住みたいと答えた理由は下記のようなもの。

戻って来たい

「家族親戚がいる」「生まれた場所だから」「育った地域に貢献したい」「魚が美味しい」
「神楽を続けたい」「住みやすい」「自然が豊か」「都会にはない魅力が多い」

戻って来たくない

「魅力ある仕事がない」「働く場所がない」「知らない」「人間関係が面倒」「都会に出たい」「やりたいことが浜田にない」「都会の方が給料が高い」「広い世界を見たい」「不便」
「若い人がいない」

Q6 浜田市で働きたい・戻って働きたい? ⇒「そう思う・どちらかというと思う」

X
Q7 そう答えた理由

- ・ 自分のなりたい職をとり、自分の生まれ育った場所で働きたいと思うから。
- ・ 浜田市は自然が豊かでいいから。
- ・ 自分の力が少しでも、市にこうけんできればと思っているからです。(あと地域の人の力にもなりたいです。)
- ・ 自分の家・会社があるから。
- ・ 住みなれているから。
- ・ 都会は空気がきたなくて人が多いしこわいから。浜田なら知り合い、家族、友人がいるので安心して働けるから。
- ・ 慣れているから。
- ・ 浜田が好きだから。
- ・ 浜田市は育った場所だから。
- ・ “あんまり建物だらけの所に行きたくないから。
- ・ 戻りたいから。
- ・ 外にでる理由がない。
- ・ 生まれも育ちも浜田市だから浜田市内で働きたい。
- ・ 親がいるから。
- ・ 浜田にはない店で働いてみたい。
- ・ 浜田を元気にしたいから。
- ・ 地元で働きたいから。
- ・ 浜田で生まれて今住んでいるから、おちつく。
- ・ 生まれたところだから。
- ・ 浜田がとても好きなのと、家族や親せきがいるから。
- ・ 家族などの相談できる相手がいるから。
- ・ 安心してくらせそうだから。
- ・ 自分のなれている環境で働きたいから。

Q6 浜田市で働きたい・戻って働きたい? ⇒「あまりそうは思わない・そうは思わない」

X
Q7 そう答えた理由

- ・ 外に出ていった方が住みやすく、生活も安定すると思うから。
- ・ あまり浜田市で働きたいと思わないから。
- ・ 田舎は嫌だから。
- ・ あんまり、いいところがない。
- ・ 都会へ出たいから。
- ・ 都会に出て働いてみたいと思うから。自分を試してみたいから。
- ・ 交通が不便だから。
- ・ あんまり働くところが少ない。
- ・ 違う場所に住みたい。
- ・ あまり楽しめる所がないから。
- ・ “働く場所がないし、浜田は人間関係がめんどくさい。
- ・ イヤな大人が多い”
- ・ 浜田市は安定しているが、もっと人生を楽しみたいから。
- ・ 都会がいいから。
- ・ みりよくのあるつとめ先がないから。
- ・ 楽しそうじゃないから。
- ・ 都会に出たいから。
- ・ なんとなく。
- ・ 自分の考えている将来のため。
- ・ 浜田市には働くところがあまりないから。
- ・ 不便だから。
- ・ 仕事が少ないから。
- ・ 帰ってきて、買い物をする場所や遊べる場所が少ないから。
- ・ 外で暮らしたいから。
- ・ 都会に出て色々な仕事をしたいから。

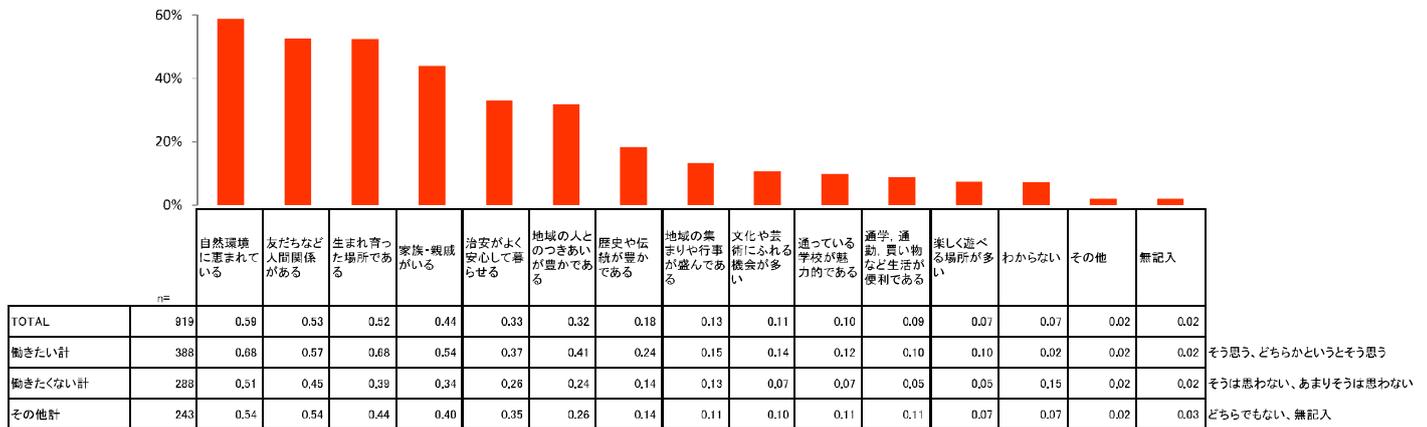
※詳細は別添の集計全データP105-120に記載16

2.浜田への居住・勤務意向

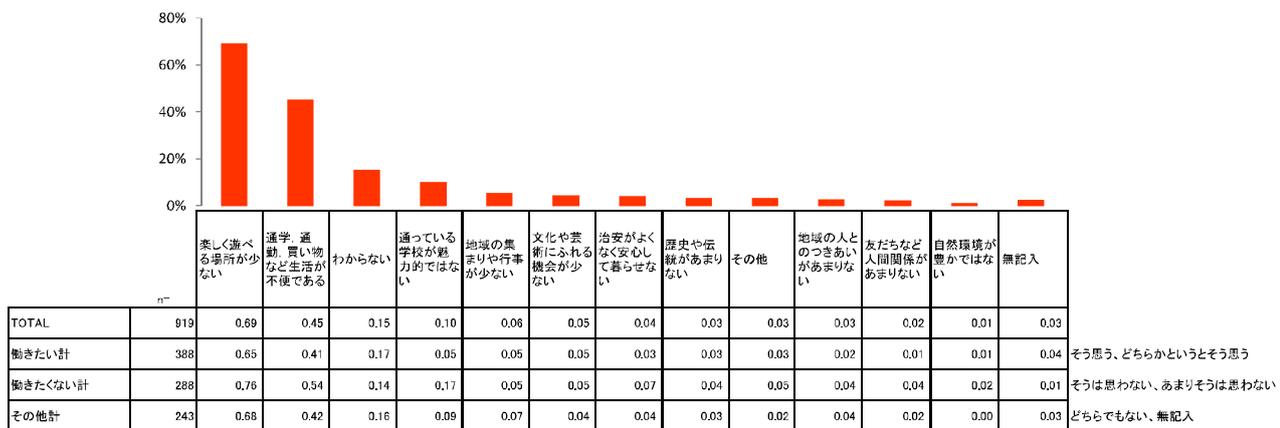
浜田で働きたいと考えている人は、働きたくない人に比べて、浜田の好きなところのうち「自然環境」「人間関係」「生まれ育った場所・家族の存在」「地域との付き合い」の項目でポイントが高い。

浜田で働きたくない人は、「遊べる場所が少ない」「不便」といった田舎の利便性。商業集積のなさに不満を感じている

Q6: 浜田市で働きたい、いつか戻って働きたい×Q2: 浜田市の好きなところ



Q6: 浜田市で働きたい、いつか戻って働きたい×Q3: 浜田市の嫌いなところ



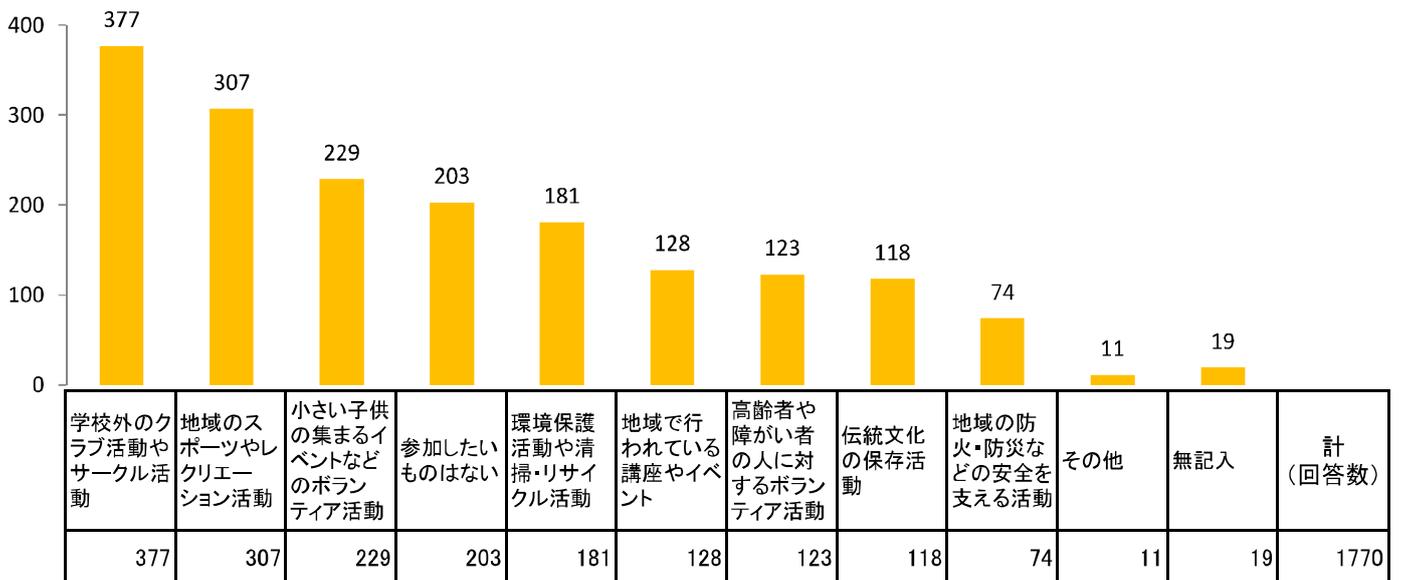
3.地域活動への参加意向

3.地域活動への参加意向

「クラブ活動やサークル活動」「スポーツやレクリエーション活動」という、自分が参加でき楽しめる活動の人気が高い。

「伝統文化の保存活動」や「防災安全活動」といった浜田を守る活動の人気が低いことから、こういった活動のなかにも参加性やエンタテインメント性を組み込むなどの工夫が必要。

Q8
MA
あなたは、地域の活動で参加してもよいと思うものがありますか。



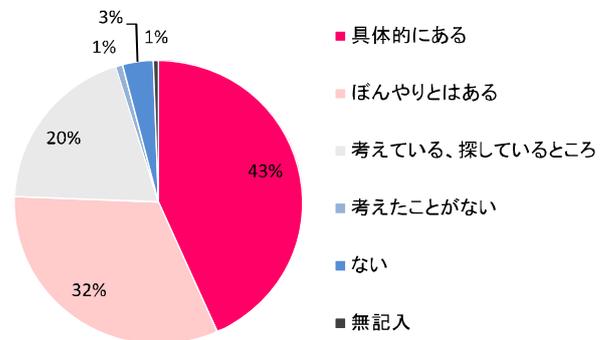
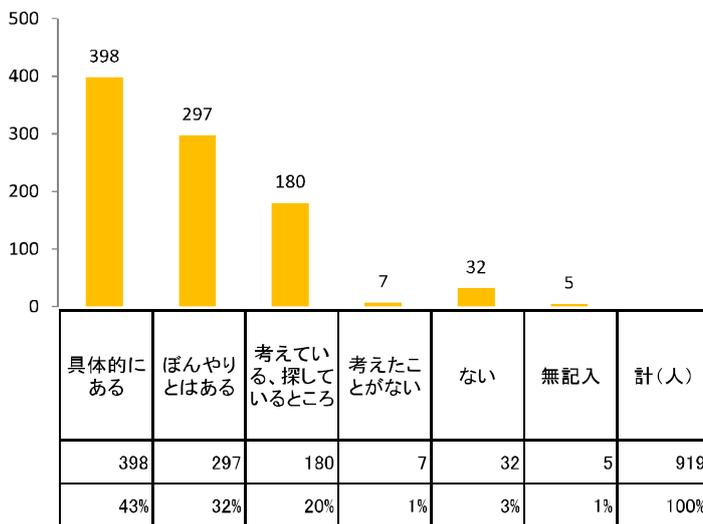
4.将来の目標や進路について

4.将来の目標や進路について

将来やりたいことが「具体的にある」が43%、「ぼんやりとある」が32%。

加えて、「今探している」が20%と続いている。中学3年生、高校3年生という進路を決めるタイミングにいる学生が調査対象であることから比較的高い数値が出たと予想される。

Q9
SA
あなたは将来の夢や目標、やりたいことがありますか。



4.将来の目標や進路について

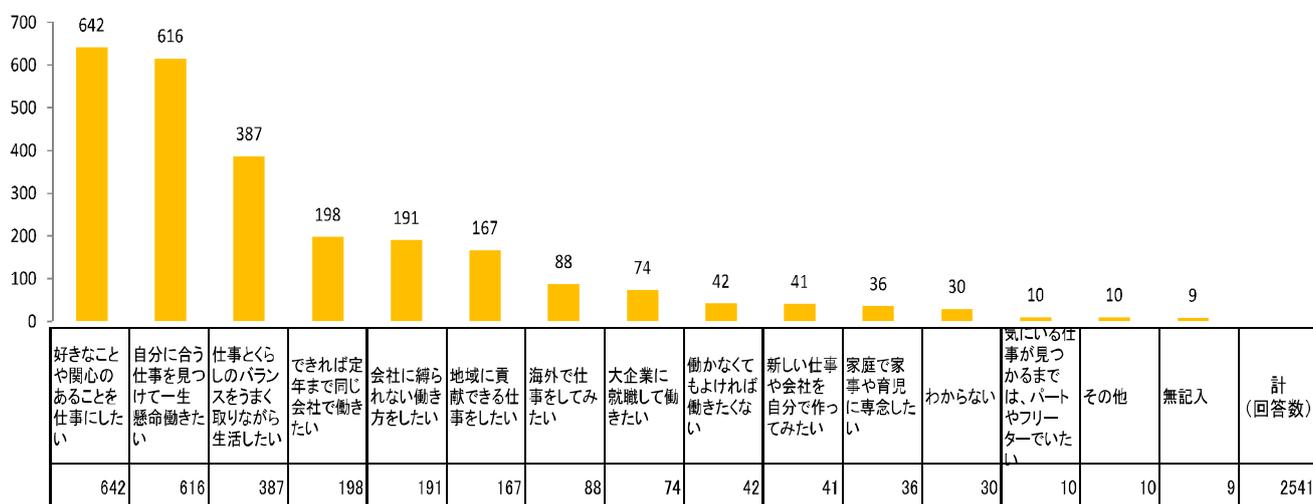
多くが「好きなことや関心のある仕事」「自分に合う仕事」に就きたい。

好きなこと、関心のある仕事の探し方や、そのためにはどのような適性が必要かといった項目を補えるキャリア教育が求められる。

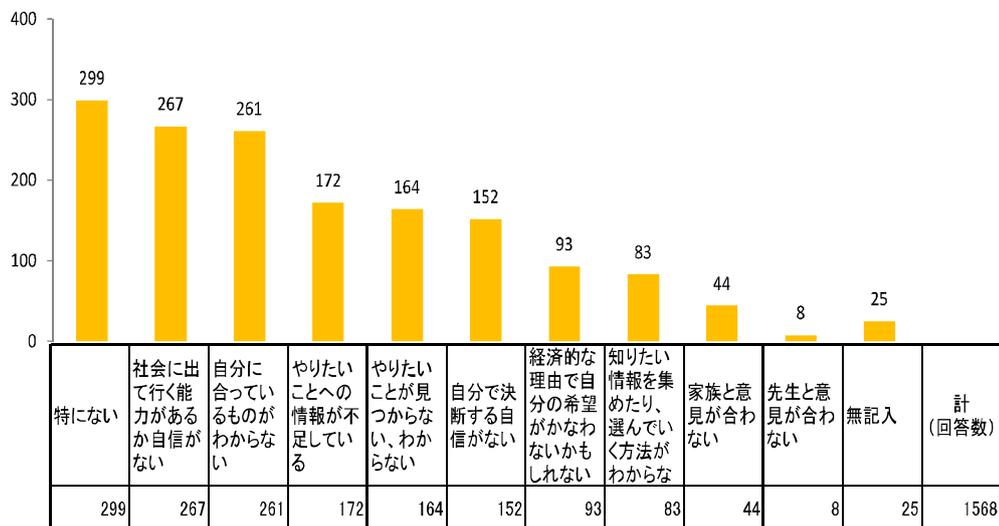
将来の選択に対して気がかりなことは「特にない」に次いで「能力があるか」「自分に合っているものがわからない」が続く。

また「やりたいことへの情報が不足している」「やりたいことがいつからない、わからない」といった項目さらに続く。

Q11
MA
あなたは将来、どのような働き方をしたいですか。



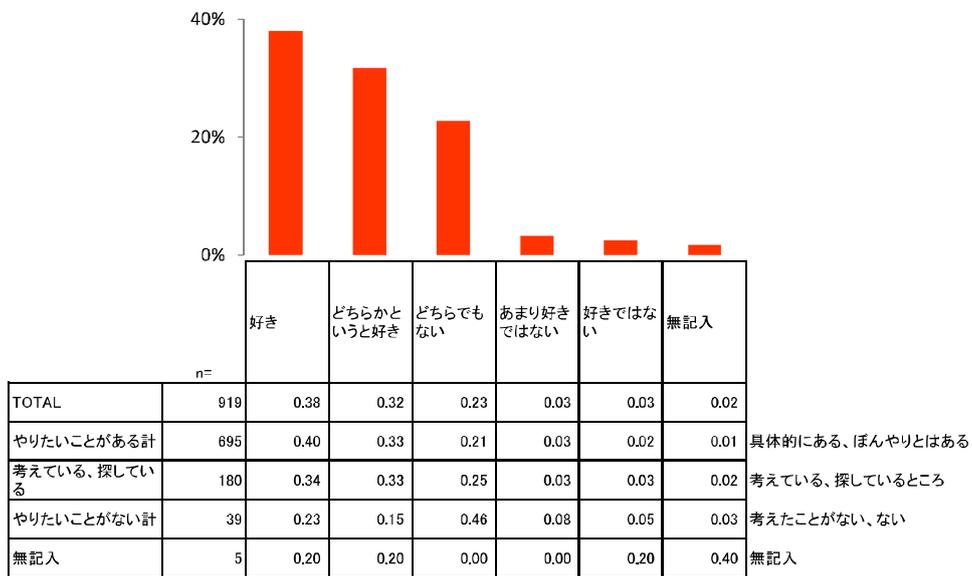
Q12
MA
あなたは将来の選択に対して気がかりなことはありますか。



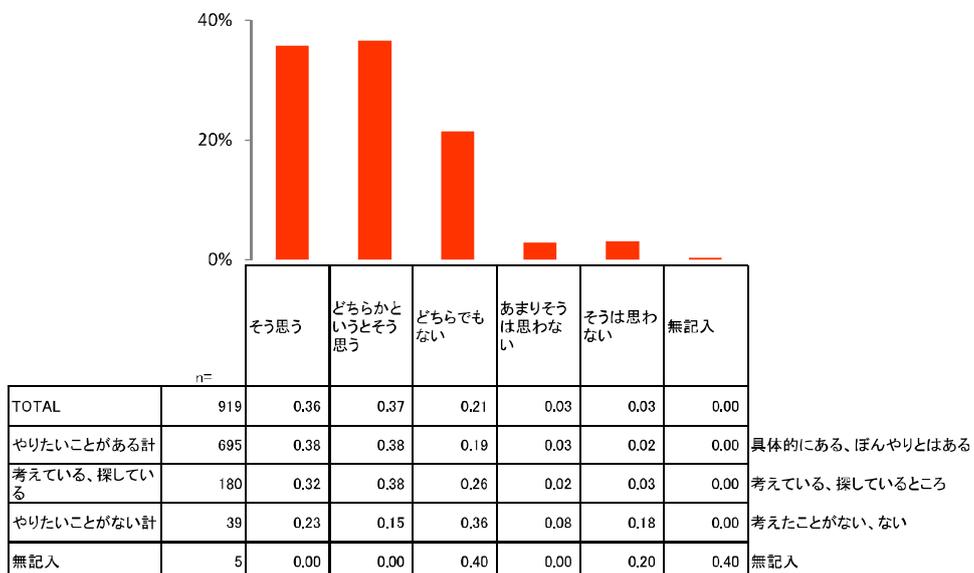
4.将来の目標や進路について

将来やりたいことがある人の方が、「浜田を好き」と回答。
将来やりたいことがある人の方が「浜田を良くしたり元気にしたい」
 キャリア教育と、ふるさと教育を兼ね備えた教育のあり方を検討する必要がある。
 そうすることが、地域への愛着や、地域貢献意識を育てることにつながる。

Q9: 将来の夢や目標、やりたいこと × Q1: 浜田が好きか



Q9: 将来の夢や目標、やりたいこと × Q5: 浜田市を良くしたり、元気にしたい

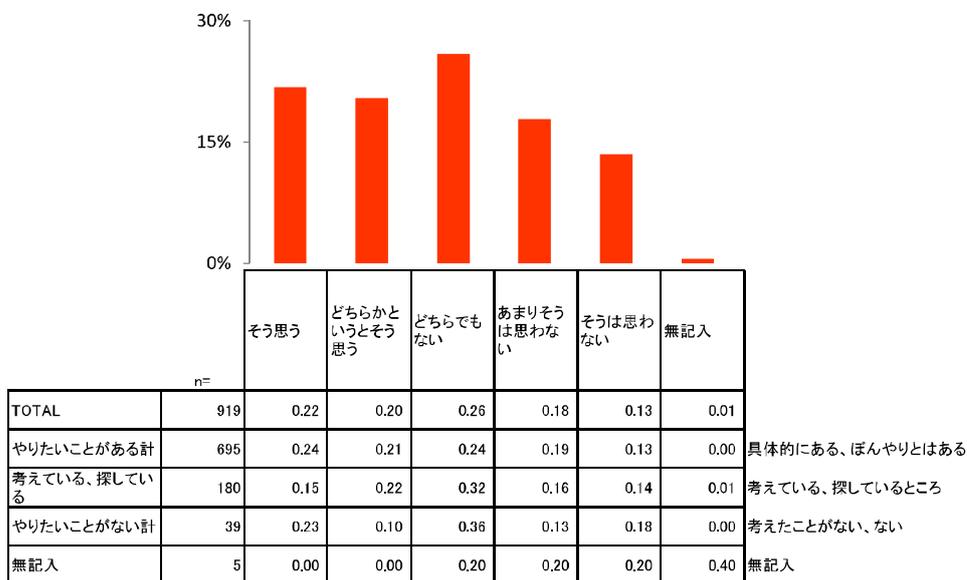


4.将来の目標や進路について

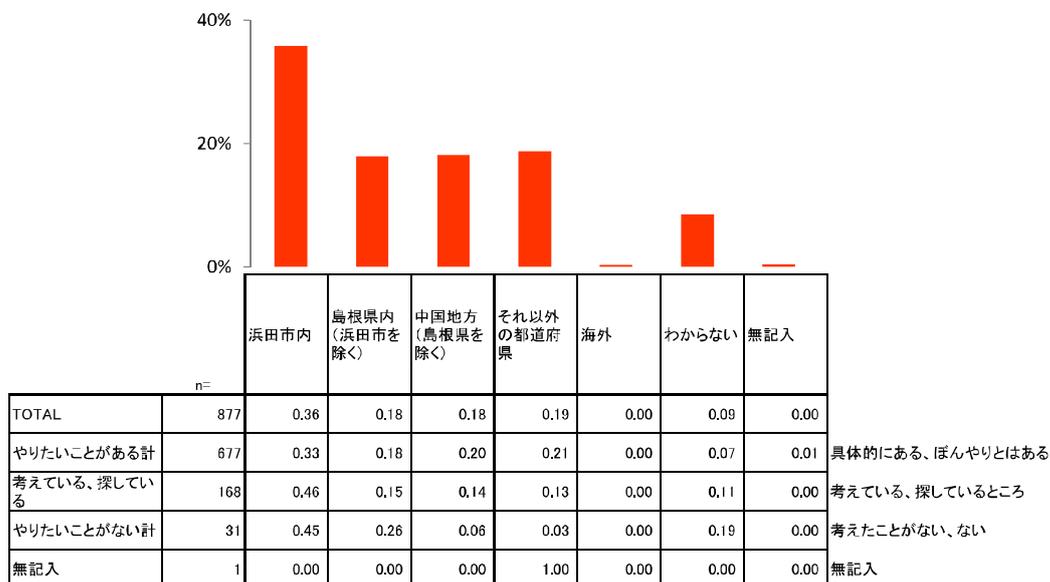
将来やりたいことがあってもなくても、浜田で働きたいという意向に大きな差はない。

将来やりたいことがある人の方が進学先・就職先として県外志向が強い。

Q9: 将来の夢や目標、やりたいこと×Q6: 浜田市で働きたい、いつか戻って働きたい



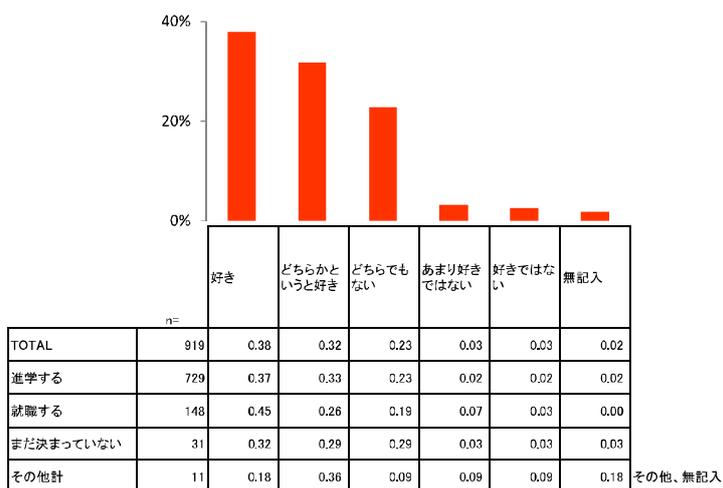
Q9: 将来の夢や目標、やりたいこと×Q16: 第1希望の進学先、就職先



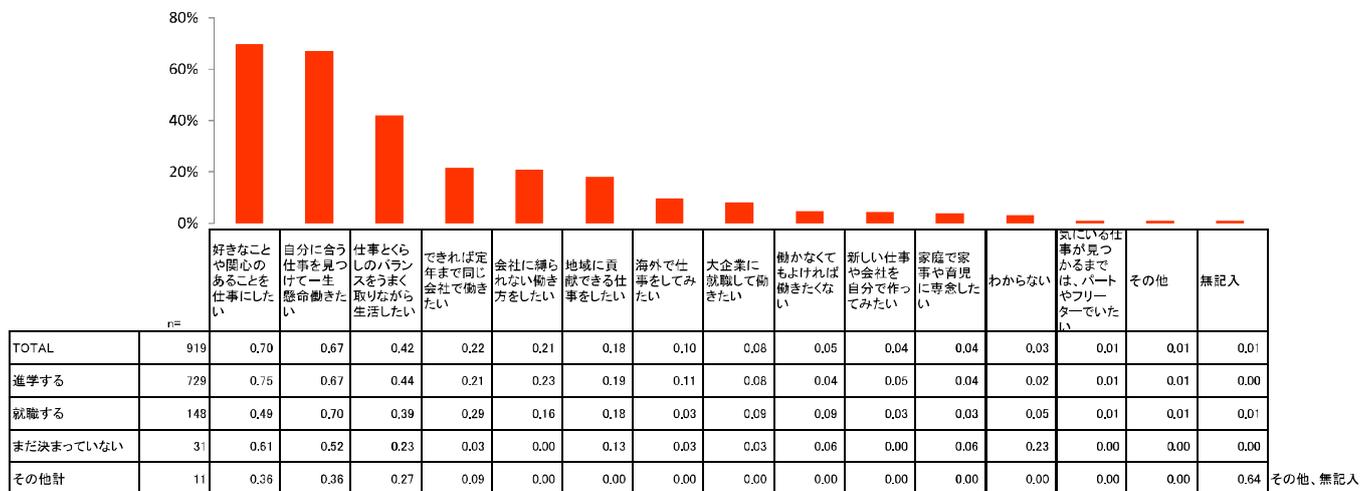
4.将来の目標や進路について

**就職予定の方が浜田を好きと回答する傾向がある。
進学希望の方が好きなことや関心のあることを仕事にしたいと考える傾向がある。**

Q15:卒業後の進路×Q1:浜田が好きか



Q15:卒業後の進路×Q11:将来したい働き方



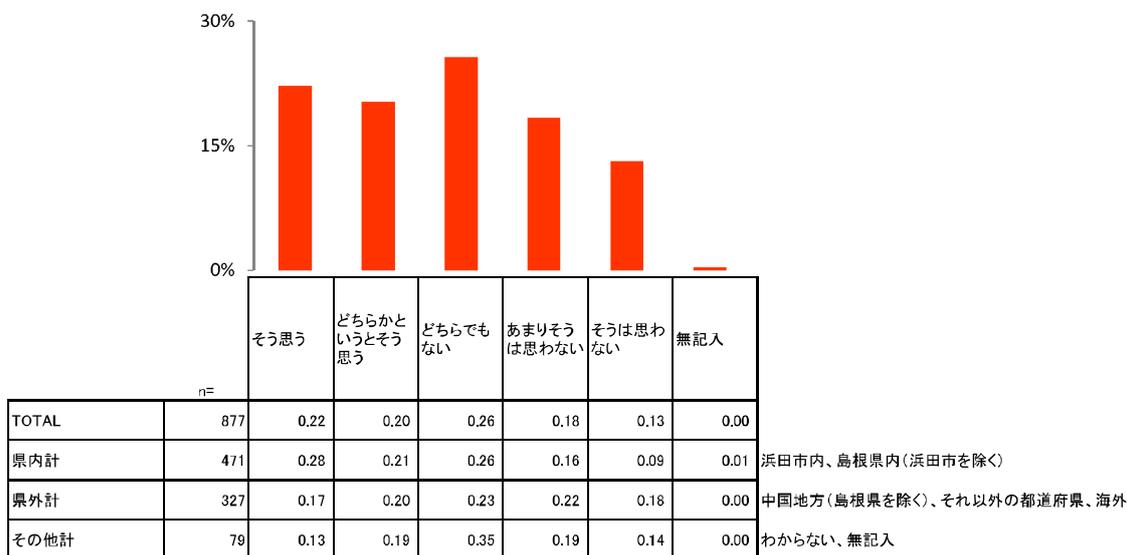
4.将来の目標や進路について

県内就職・進学を希望する人ほど、浜田でいつか働きたいと思っている。

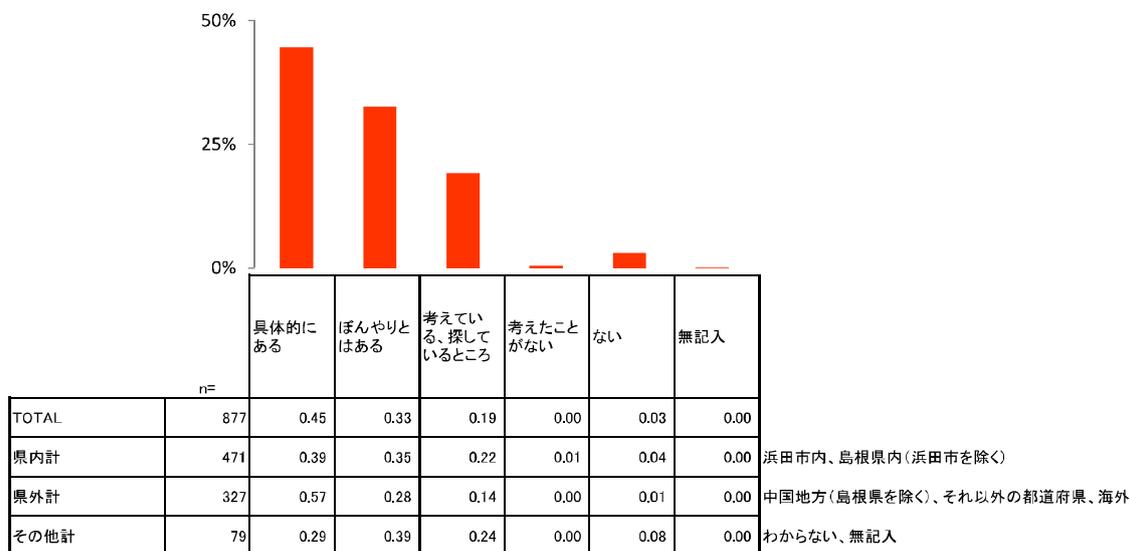
県外就職・進学を希望する人ほど、将来の夢や目標を持っている。

県内の進学・就職先をしっかりと知ってもらふ活動に加え、県外に出ても地元に関わることができる生き方や、Uターンなど浜田市とのあらゆる関わり方をもっと知ってもらうことで、地域へ帰ってくる、地域貢献する子供を育成することができる可能性がある。

Q16: 第1希望の進学先、就職先 × Q6: 浜田で働きたい、いつか戻って働きたい



Q16: 第1希望の進学先、就職先 × Q9: 将来の夢や目標、やりたいこと

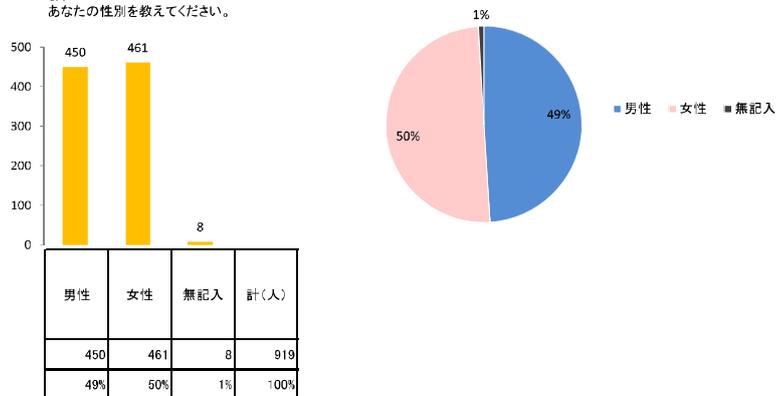


5.基本属性・生活意識について

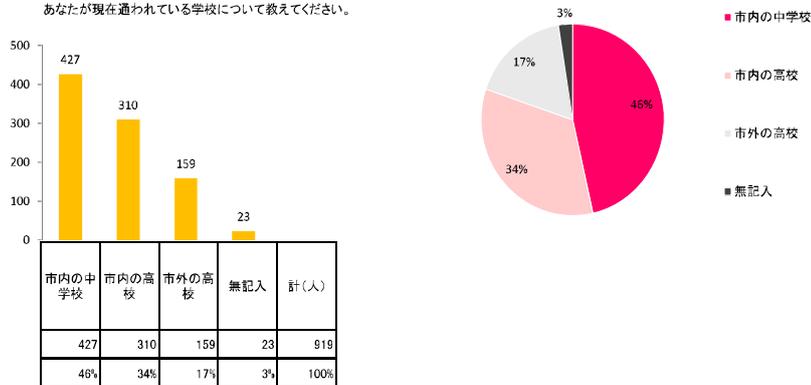
5.基本属性・生活意識について

性別	男性49%、女性50%
学校	市内の中学46%(n=427)、市内の高校34%(n=310)、 市外の高校17%(n=159)
地区別	浜田69%、金城9%、旭4%、弥栄3%、 三隅9%、浜田市外5%

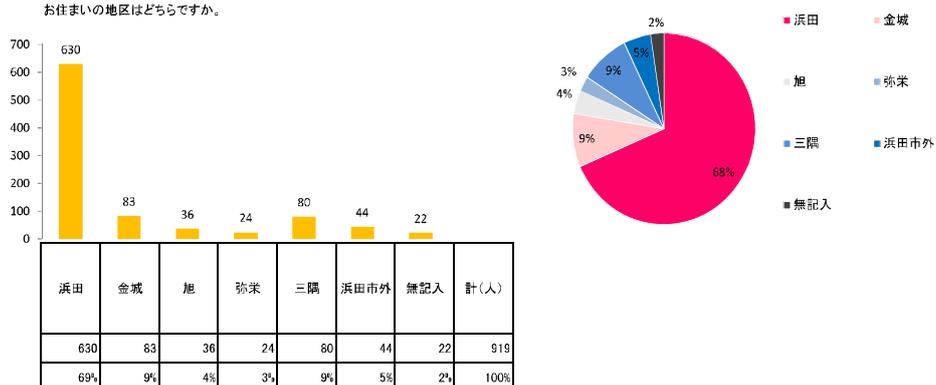
Q14
SA
あなたの性別を教えてください。



Q17
SA
あなたが現在通われている学校について教えてください。



Q18
SA
お住まいの地区はどちらですか。

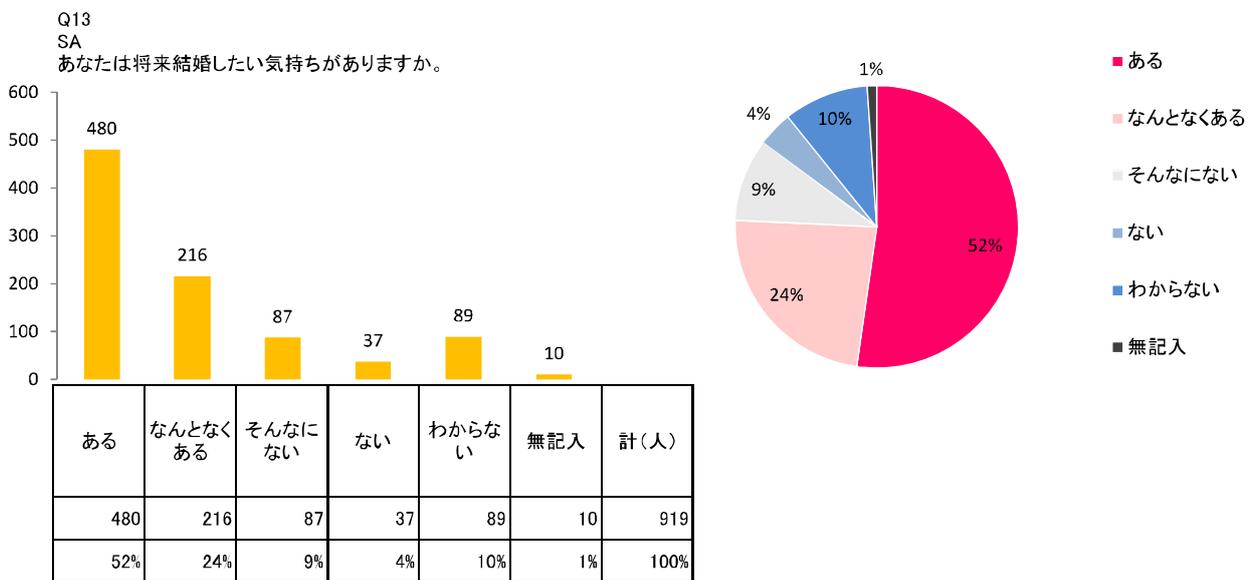


5.基本属性・生活意識について

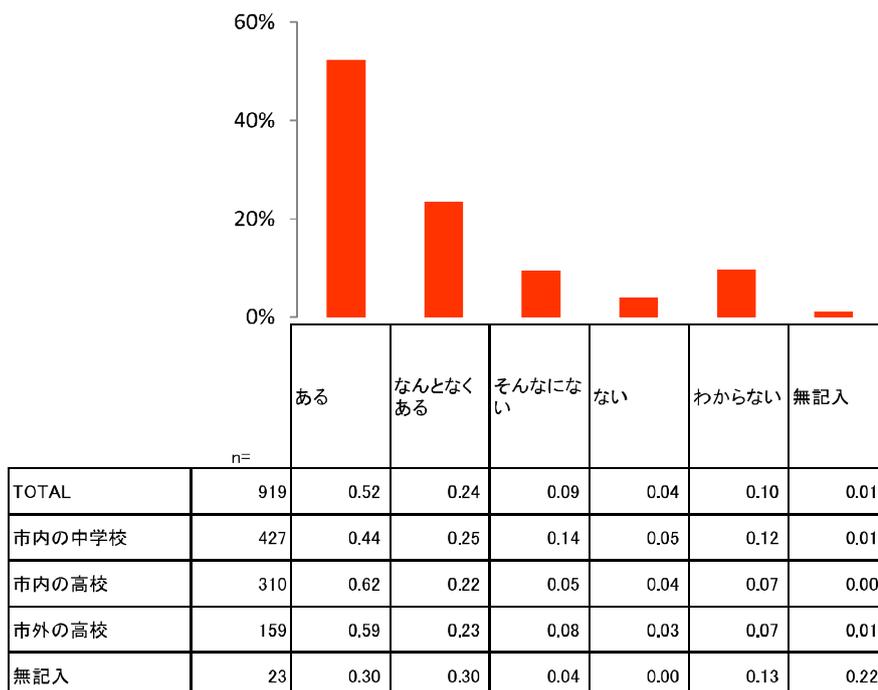
76%が結婚願望あり。

中学生は約7割、高校生は8割強が結婚したい気持ちがあるかという問いに対して「ある」「なんとなくある」と回答。

三菱UFJリサーチ&コンサルティングが中高生1,200名を対象とした「子育て支援策等に関する調査 2014 報告書(中高生の意識調査)概要」によると、「ぜひ結婚したい」、もしくは「できるだけ結婚したい」と考える層は、6~7割程度とあることから、全国の平均値より少し高い値であると言える。

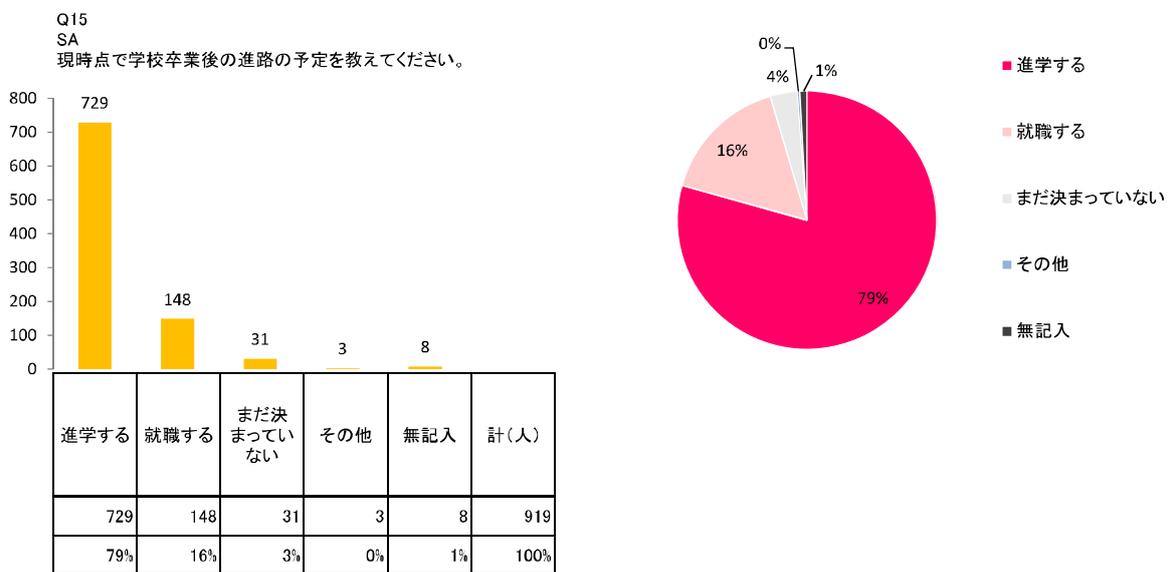


Q17:通っている学校×Q13:結婚したい気持ちがあるか

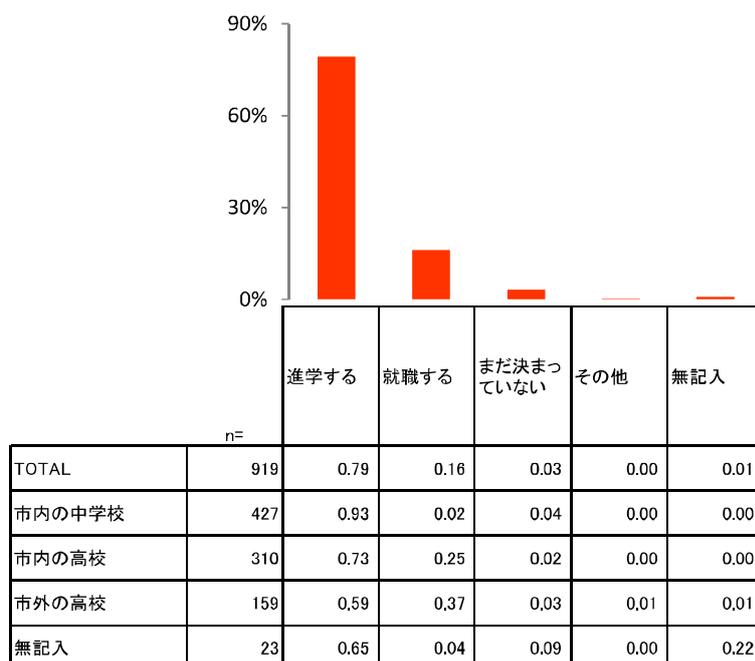


5.基本属性・生活意識について

中学生の卒業後の進路は進学93%、就職2%、決まっていない4%、市内の高校生は進学73%、就職25%、決まっていない2%、市外の高校生は進学59%、就職37%、決まっていない3%。



Q17:通っている学校×Q15:卒業後の進路



5.基本属性・生活意識について

中学生の希望の進学・就職エリアは

「浜田市内」59%、「島根県内」25%、「中国地方」3%。

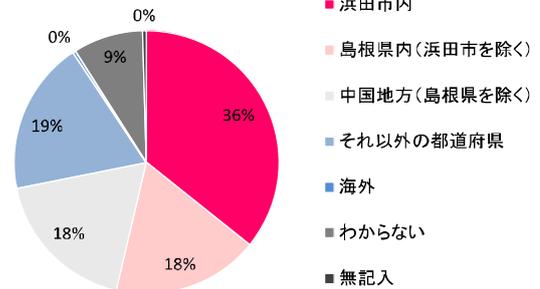
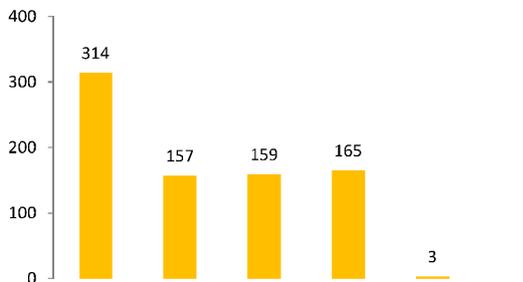
市内高校生の希望の進学・就職エリアは

「浜田市内」16%、「島根県内」11%、「中国地方」32%。

市外高校生の希望の進学・就職エリアは

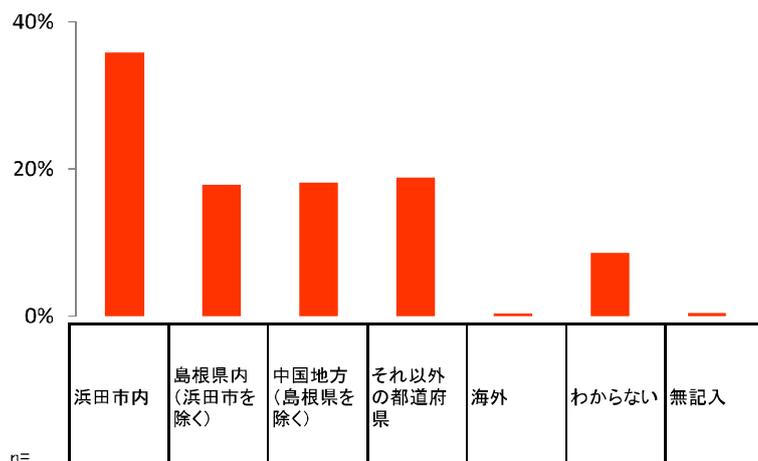
「浜田市内」13%、「島根県内」14%、「中国地方」30%。

Q16 ※Q15で 1 または 2 を回答した人のみ回答対象
SA
第1希望の進学先、就職先の所在地はどちらですか。



所在地	浜田市内	島根県内 (浜田市を除く)	中国地方 (島根県を除く)	それ以外の都道府県	海外	わからない	無記入	計(人)
人数	314	157	159	165	3	75	4	877
割合	36%	18%	18%	19%	0%	9%	0%	100%

Q17:通っている学校×Q16:第1希望の進学先、就職先



学校種別	n	浜田市内	島根県内 (浜田市を除く)	中国地方 (島根県を除く)	それ以外の都道府県	海外	わからない	無記入
TOTAL	877	0.36	0.18	0.18	0.19	0.00	0.09	0.00
市内の中学校	405	0.59	0.25	0.03	0.04	0.00	0.08	0.00
市内の高校	303	0.16	0.11	0.32	0.30	0.01	0.10	0.00
市外の高校	153	0.13	0.14	0.30	0.35	0.00	0.08	0.00
無記入	16	0.38	0.06	0.19	0.19	0.00	0.13	0.06

総合振興計画・総合戦略策定に向けて

地域と関わることで愛着や貢献意識を醸成する。

地域をもっと知るきっかけづくり

浜田の独自性や地域で暮らす魅力を知る教育

浜田の魅力は魚が美味しいところと多くの学生が回答していることから、歴史や文化だけがふるさと教育ではない。地域の食や祭りなど、もっと日々の生活に近い内容のふるさと教育も検討する必要がある。例えば、郷土料理を作る家庭科の授業や、神楽・瓦・漁業を学ぶ研修授業、祭りへの学校やクラス単位での屋台出店などが考えられる。

加えて、起業した人、UIターンした人、昔から住んでいる人など、浜田で暮らすことを選んだ人がなぜ浜田を選んだのかといった、ここで暮らす魅力を知る機会づくりなども、浜田の独自性や魅力を知る上では有効であると考えられる。(都市のような商業集積や利便性を追求することは難しい中、都会にはない、田舎や浜田らしさをもった場作りや、地域ならではの魅力を伝える教育にフォーカスすべき。)

地域貢献と自分の夢を育てていける教育

将来やりたいことを持っている学生の方が、浜田への愛着や貢献意識を強く持っており、キャリア教育と地域を知る教育を統合させて考えることが必要である。

どのようにやりたいことを見つけるか、夢を実現するかといったレクチャーに加えて、浜田で起業・就職・継業した人に、どのように自分の将来を描き実現していったのかといった、地域での夢の描きかたや実現の仕方を知る機会も重要であると考えられる。

例えば、キャリアのプロと当該人材を呼んだ講座の開催や、地域課題を解決するビジネスプラン(地域産品開発やコミュニティカフェ実施など)の企画と試験的な実施といった授業・課外活動の実施などが考えられる。

地域への参加を促すことで、地域への愛着や貢献意識を育成し、いつかは浜田で住みたいという意識を醸成する。

参加してもらえらる・間口を広げた市民活動

エンタテインメント性を備えた地域課題のための活動企画

クラブ活動やスポーツ活動といった、自らが活動の主体となり参加性のある活動への参加意向が高くなっている。清掃活動、〇〇ボランティアといった、いわゆる課題解決を主題としたものでなく学生が進んで参加したくなるエンタテインメント性を兼ね備えた市民活動が必要。

例えば、防災×祭り(例1)、環境×ゲーム(例2)、高齢者問題×カフェ(例3)といったものである。市民活動を企画する際に、このようにエンタテインメント性・参加性という要素が組み込まれた内容となっているかをチェックする必要がある。



例1) カエルキャラバン
家族や友だちと楽しみながら、防災知識を身につけることができる、新しいかたちの防災イベント。



例2) ごみ買いプログラム
市は住民に対してごみをトラックが入れるところまで持ってくれば、ごみを買って野菜や果物で支払うという、住民がゴミ収集の仕事をしたことに、清掃業者が対価を食料で払うという仕組み。(ブラジル・クリチバ市)



例3) コミュニティカフェ
地域住民が企画運営する、地域社会の中で「たまり場」「居場所」となる場。学生やリタイアした人が運営している地域も多い。

市民活動の見える化の仕組みづくり

クラブ活動やスポーツ活動への参加意向は一定程度存在することから、地域の既存の活動を見える化する仕組みによって、活動自体が周知でき、参加を促すことができる可能性がある。

具体的には、ホームページや広報誌などで地域活動を一覧にし、申し込みフォームなどを設置すること、で参加予約や見学予約をできるようにするといったもの。

地域貢献意識と起業家マインド醸成による将来的な産業貢献。

浜田の産業を活性化してくれる人材育成

起業家マインドを持つ人材育成

産業活性という観点から学生を見た時、すでに地域内にある求人ポストに就職するというだけでなく、地域外でビジネスを学んでUターンし、既存の産業をより活性化してくれる人材や、遠くに住んでいても地域に貢献してくれる人材、地域で起業してくれる人材を育てることは非常に重要になってくる。そのため、目的意識や課題解決力・実施力といった起業家マインドを持つ学生の育成が、重要となる。

例えば、地域の課題を学生が解決する活動プランを募集し、優秀なものを表彰実施してもらい、対価として海外研修といったインセンティブを与えるような地域課題解決プランコンテストや、休暇を利用した中高生向けインターンで自らビジネスを経験する、地域活動や祭り・コミュニティビジネスを企画運営するクラブ活動を設けるといった、座学ではなく実地研修でビジネスや企画運営を学ぶ場作りなどが考えられる。

浜田の仕事・人を知る機会作り

地域にどんな仕事があるか知らない、自分の就きたい仕事がないことから、地域外への就職を希望する学生が多く存在する。一方で、地域には、人づてで「良い人がいれば」といった隠れ求人も含め、一定の求人が存在する。加えて近年、起業、継業といった自ら仕事を作る人や、都市と地域を行き来しながら暮らし働く二地域居住といった、新しい働き方をする人が地方においても目立ち始めている、

例えば求人サイトなどで、今地域にある求人を見える化するための活動※に加え、地方で新しい働き方をする人を知るための場(冊子・講座・サイトなど)をつくることで、地方においても自分のやりたい仕事をする事ができる可能性を伝えると同時に、自然・親や旧友との距離・文化やコミュニティといった、生まれ育った地元で暮らす魅力を伝える活動を行うことが考えられる。

※求人を見える化する活動：今年度中にふるさとしまね定住財団が、県内最大級の求人サイトを整備する予定となっている。浜田市内における求人をここに集約することで、既存の求人の一覧化が可能となる。